## パラメータ値について

本コントローラとIPMモータの結線後は、IPMモータのパラメータ値を変更する必要があります。
下記表をご参照の上、設定ください。
IPMモータのパネル操作方法は、「多翼送風機インバータシロッコファンCLF5-VF-HOH型取扱説明書(TF-69)」、
「IPM可変速モータドライブ取扱説明書(PIM00027)」もご覧ください。
下記表以外のパラメータ設定については、当社までお問合せください。

> ⚠注 意
>
> IPMモータは当社出荷時、モータ1次側電源投入時、モータが運転するように設定しております。コントローラ結線後パラメータ変更のために電源を投入するとモータが運転し始めますので、ご注意ください。

> ⚠注 意
>
> IPMモータのパラメータを変更する際は、IPMモータの運転操作モードを「OFF」に設定してください。IPMモータの運転操作モードを「0」の状態でパラメータ変更を行なうとモータが突然動き出す恐れがあり、非常に危険です。

●TVFSW-1の場合

電動機の仕様回転数に応じて、下記4つのパラメータ値を変更・確認ください。

| 仕様回転数 | パラメータ | | | |
|---|---|---|---|---|
| [$min^{-1}$] | G01-P01 | G02-P02 | G03-P01 | G03-P02 |
| 2400 | 240 | 0 | 200 | 0 |
| 2100 | 210 | 0 | 175 | 0 |
| 1800 | 180 | 0 | 150 | 0 |
| 1500 | 150 | 0 | 125 | 0 |
| 1200 | 120 | 0 | 100 | 0 |

●TVFSW-2の場合

電動機の仕様回転数・コントロールスイッチのボリュームの設定に応じて、下記7つのパラメータ値を変更・確認ください。
下表以外のボリューム設定を行なう場合は、当社まで問合せください。

| 仕様回転数 | ボリューム設定例 | | パラメータ | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| [$min^{-1}$] | 「強」回転数 | 「弱」回転数 | G01-P04 | G01-P05 | G01-P19 | G02-P02 | G02-P16 | G03-P01 | G03-P02 |
| 2400 | 2400 | 1200 | 240 | 120 | 114 | 0 | 2 | 155 | 45 |
| | 2400 | 360 | 240 | 36 | 26 | 0 | 2 | 193 | 7 |
| 2100 | 2100 | 1050 | 210 | 105 | 100 | 0 | 2 | 136 | 39 |
| | 2100 | 360 | 210 | 36 | 27 | 0 | 2 | 167 | 8 |
| 1800 | 1800 | 900 | 180 | 90 | 86 | 0 | 2 | 116 | 34 |
| | 1800 | 360 | 180 | 36 | 29 | 0 | 2 | 141 | 9 |
| 1500 | 1500 | 750 | 150 | 75 | 71 | 0 | 2 | 97 | 28 |
| | 1500 | 360 | 150 | 36 | 30 | 0 | 2 | 115 | 10 |
| 1200 | 1200 | 600 | 120 | 60 | 57 | 0 | 2 | 77 | 23 |
| | 1200 | 360 | 120 | 36 | 32 | 0 | 2 | 88 | 12 |

※「弱」回転数は、360$min^{-1}$以下には設定できません。
※パラメータ値を変更した場合、電源を切り、再度投入してください。
※上表通りにパラメータ設定を行なっても、設置条件等により仕様回転数と多少異なる場合があります。
回転数を変更したい場合は、当社までお問合せください。
※上表以外のパラメータを変更しないように注意ください。電動機が運転しなくなる恐れがあります。

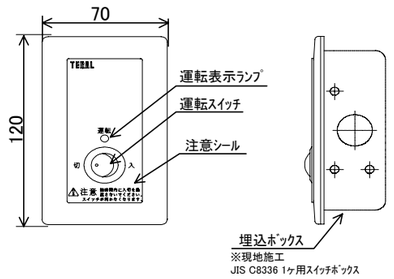
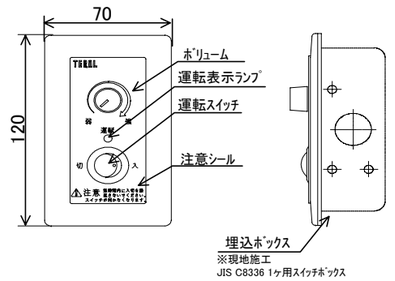
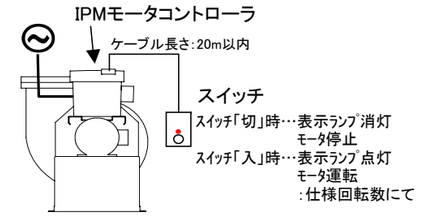
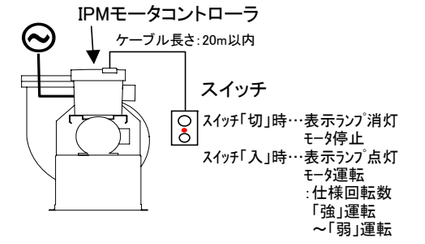
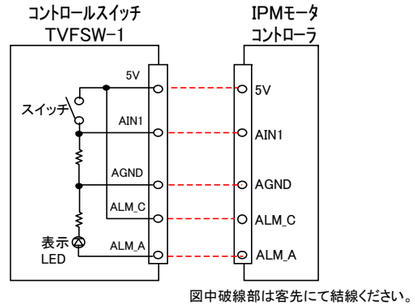
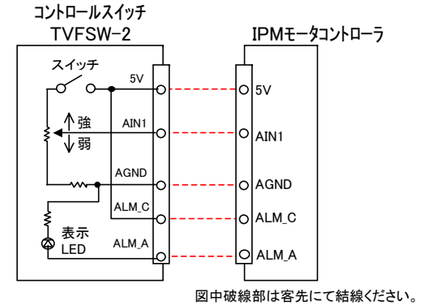




# IPM可変速モータドライブ用コントロールスイッチ

TVFSW-1 / TVFSW-2 型

⚠警 告 この説明書を読んで理解するまでは、機器の操作および保守・点検を行なわないでください。
この説明書は、機器の操作または保守・点検を行なう場合、いつでも調べられるように
大切に保管してください。

| 型式 | TVFSW-1 | TVFSW-2 |
|---|---|---|
| 機能 | 手元ON-OFF、LED付 | 手元ON-OFF、手元回転数(風量)調整、LED付 |
| 外形図 |  |  |
| 概要図 |  |  |
| 結線図 |  |  |
| ⚠注 意<br>注意事項 | ①コントロールスイッチとIPMモータコントローラ間の結線は客先にて接続してください。<br>結線は本紙内面をご参照ください。<br>②結線後、モータパラメータ値を変更してください。<br>パラメータ値は本紙裏面をご参照ください。<br>③短時間内にコントロールスイッチのON-OFFを繰り返さないでください。<br>IPMモータコントローラにエラーが表示され、コントロールスイッチがきかなくなります。<br>コントロールスイッチがきかなくなった時は、主電源を切断し、IPMモータコントローラ操作パネルの<br>表示LEDが消えた後、約10秒経過後、再度主電源を入れてください。 | |

# コントロールスイッチとIPMモータコントローラの結線について

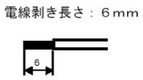
コントロールスイッチとIPMモータコントローラ間の結線は客先にて接続してください。

結線は、1.25mm$^2$の電線（単線）を使用してください。

より線の場合は棒形圧着端子を使用するなどし、確実に差し込めるようにしてください。

> ⚠注 意
>
> 結線時はモータ1次側のブレーカを必ず落としてから作業してください。

1) 電動機本体カバーを外してください。
   開閉時、無理に外さないでください。内部のハーネス、コネクタが破損します。
2) 電線をIPMモータコントローラの配線口のケーブルクランプを通して配線してください。
3) 本紙内「配線図」どおりに、入出力信号用端子台に接続してください。
   ① 3×0.45のマイナスドライバで端子台のねじを緩めます。
   ② 電線の剥き長さを確認し、バラケないように突き当たるまで差し込みます。
   ③ マイナスドライバでネジを締めます。
   ④ 電線を軽く引っ張り、確実に結線された事を確認します。
4) 結線後、電動機本体カバーを元どおりに確実に取り付けてください。

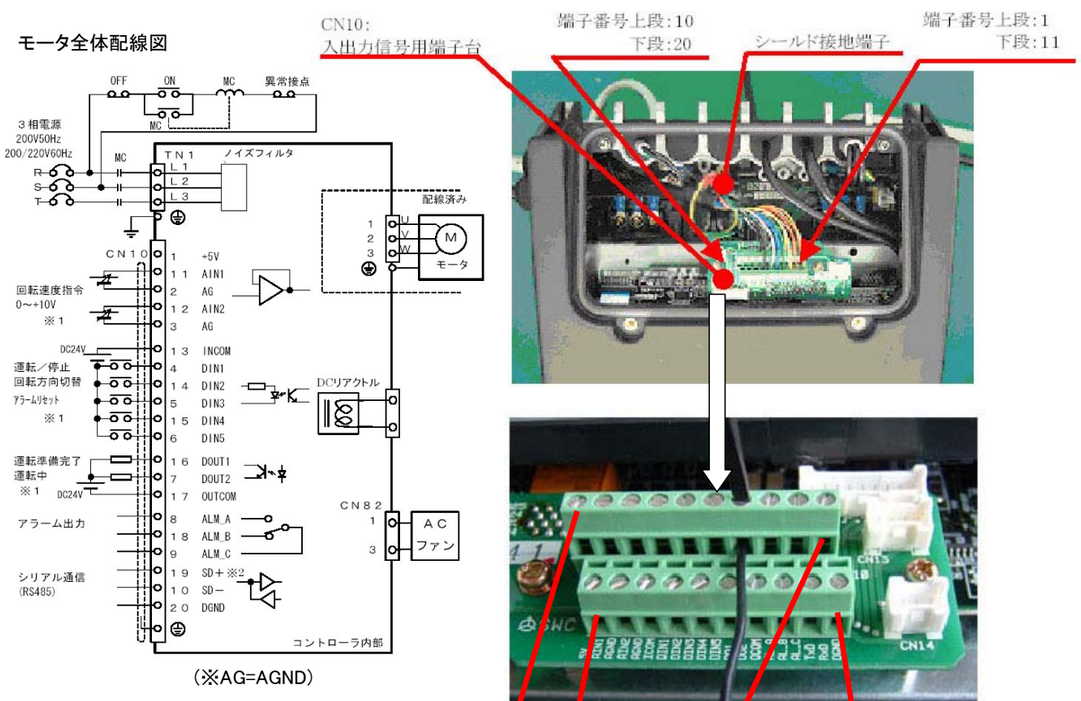



入出力信号用端子台は、IPMモータの出力により位置・形状が異なります。

ファンまたはモータの銘板より、ご使用になるモータの出力を御確認いただき、お間違いのないように結線ください。

## 1．0.75/1.5kWモータの場合

モータ全体配線図

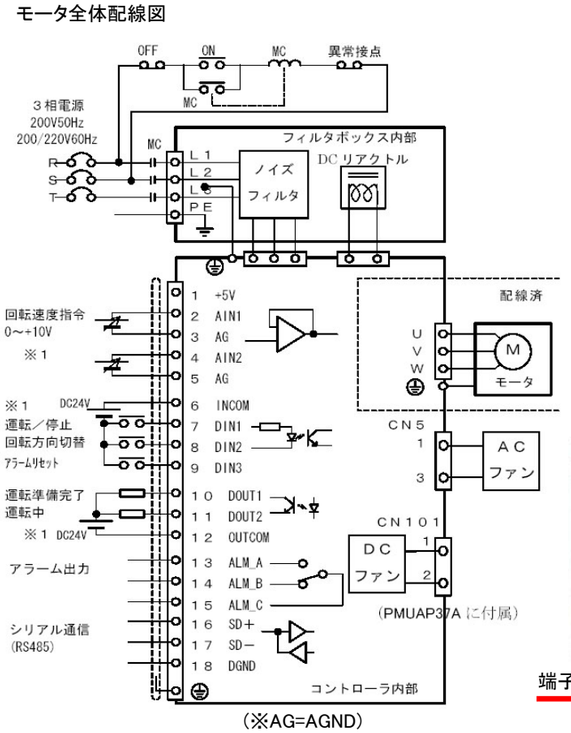



（※AG=AGND）

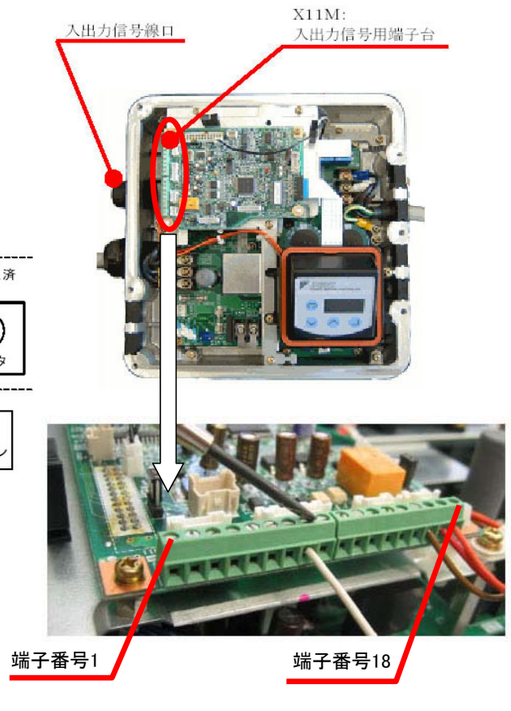


## 2．2.2/3.7kWモータの場合

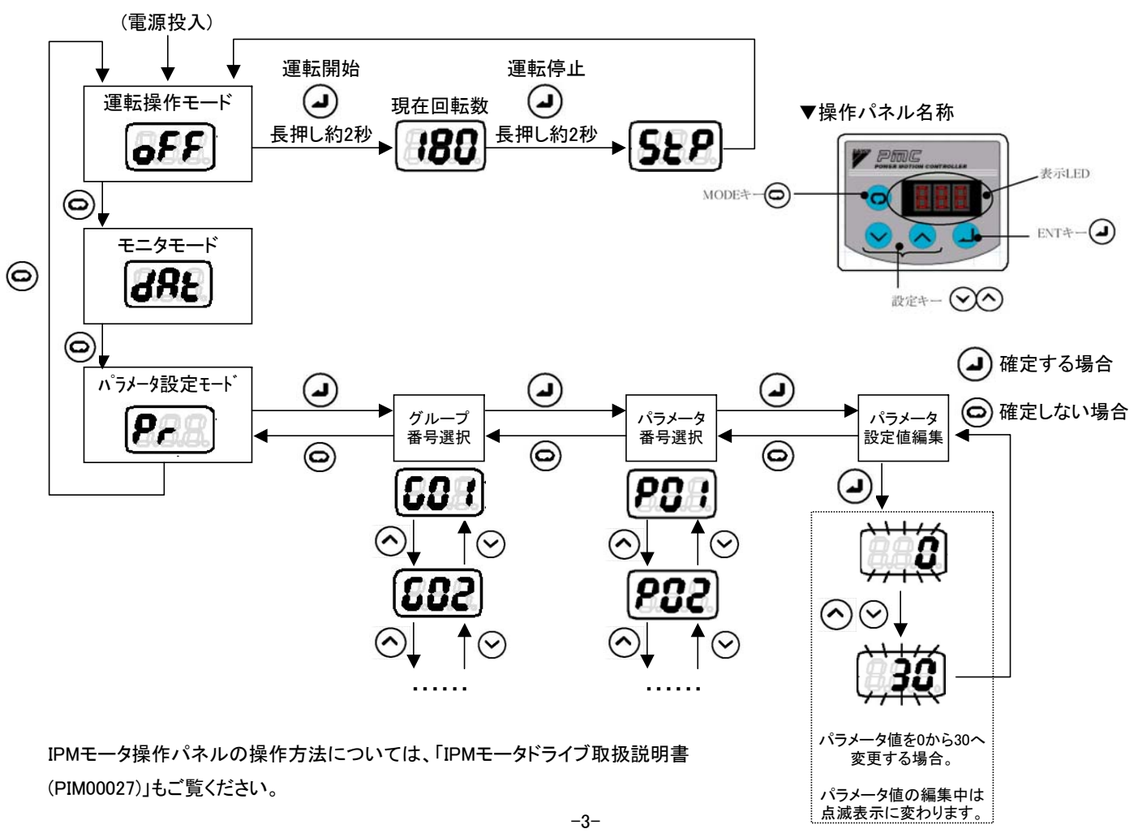
モータ全体配線図




（※AG=AGND）




# IPMモータ操作パネルの操作方法について




IPMモータ操作パネルの操作方法については、「IPMモータドライブ取扱説明書(PIM00027)」もご覧ください。